

# ウサギの避妊手術について

**メスのウサギに避妊手術をしてあげませんか。**

何もしていない雌ウサギは5歳までに8割が子宮疾患になるというデータがあります。子宮内膜症や子宮腺癌になり、いずれも大量出血のリスクがあります。腺癌に至っては「転移」のリスクもあり、「予後不良で死亡」となる場合があります。

当院では大人の雌ウサギに対して避妊手術を勧めています。加えて、ウサギは繁殖能力が高く、オスと飼うと数秒の交尾で妊娠が成立してしまいます。繁殖抑制も兼ねていますが、病気の予防の意味合いが強いです。

まずは「**避妊手術の相談**」でご来院下さい。

8ヶ月以上のウサギから対象になります。

## 避妊手術を行うメリット

・**子宮疾患の早期予防。早いと1歳でも発症します。**

子宮からの出血が起こり、大量であれば致命的な貧血に陥ります。陰部からの出血は子宮疾患のサインです。

- ・子宮腺癌の予防。転移したら治療法はありません。
- ・望まない妊娠をさせない。繁殖のトラブルの回避。

## 避妊手術のデメリット

・麻酔のリスク。術前に血液検査で異常がないかを確認します。当院はウサギ専用の気道確保の器具を導入しており、安全に配慮して手術を行います。

・術後管理が2週間ほどあり、その間に投薬を行います。食欲が落ちる場合もあります。2週間後に抜糸があります。